

# 台風や集中豪雨から身を守るために



令和7年牧之原市台風15号に伴う竜巻等災害の被害(令和7年9月5日)

近年、全国各地で局地的豪雨や台風による大規模な風水害、土砂災害が発生しています。昨年は本市でも台風15号に伴う竜巻等災害により多くの被害が発生しました。風水害や土砂災害から身を守るためには最新の気象情報などに注意し、市から避難の呼びかけがあったときには、正しく迅速に行動することが重要です。

「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、平時からお住まいの地域の災害リスクと取るべき行動を確認し、緊急時に適切な避難行動ができるようにしましょう。

危機管理課 伊藤 ☎(23)0056

## 日頃からハザードマップで危険箇所の確認を

台風や豪雨時に慌てずに行動するためには、日頃から周囲の災害リスクを把握し、自分がいつ、どのような避難行動を取るべきか知っておくことが重要です。災害から命を守るために、「洪水ハザードマップ(全戸配布済み)」と「避難行動判定フロー」を確認しておきましょう。

また、各家庭において、「わたしの避難計画」を作成するなど、有事の際の行動を再確認しておきましょう。

## 迫り来る危機を知る

風水害や土砂災害から身を守るためには「情報収集」が大切です。雨の降り方や河川の水位など、最新の情報を把握することで、避難の準備や心構えができ、市から避難の呼びかけがあったときに、すぐに行動できます。

## 土砂災害にも注意を

土砂災害は大雨、台風、長雨により発生し、「土石流」「地すべり」「崖崩れ」の3つに分類されます。

土砂災害には、次のような前兆現象が起こります。これらを確認した場合はすぐに斜面などから離れ、身の安全を図る行動を取ってください。今年の出水期からは、土砂災害の危険度が高まったときには「土砂災害警報」が気象庁から発表されます。

### 「土石流」

▼急に川の水が濁り、流木が混ざる▼山鳴りがする▼雨が降り続けているのに川の水位が下がる

### 「地すべり」

▼沢の水や井戸水が濁る▼斜面から水が噴き出す▼地

面にひび割れができる

### 「崖崩れ」

▼崖から水が湧き出している▼崖から小石がパラパラ落ちる▼崖に亀裂ができる

## 竜巻に対する備え

インターネットなどで「竜巻注意情報」や「竜巻発生確度ナウキャスト」を確認し、次のような積乱雲が近付く兆候が確認された場合には、頑丈な建物に避難するなど身の安全を確保する行動を取るようにしましょう。

▼空が急に真っ暗になる▼大粒の雨が降り出す▼雷の音が聞こえる など

## 市からの呼びかけで迅速な避難を

台風や豪雨のとき、市では最新情報を分析し、気象台などと連携しながら市内の状況を常に監視しています。

氾濫や土砂災害の危険が高まった場合には、市から「警戒レベル」に応じた避難情報が発令されます。状況に応じて、必ず安全を保てる場所を避難所として指定しますので、避難情報が出たら早めの避難を心がけてください。

## 避難の呼びかけ手段

市からの避難の呼びかけ(避

難指示などの発令)は、同報無線や市ホームページ、メール・LINEなどのほか、テレビ放送(データ放送含む)や「緊急速報メール」(NTTドコモでは「エリアメール」と呼ぶ場合があります)で実施します。

緊急速報メールは、災害発生の危険度が高くなったときになどに皆さんの携帯電話へ送信されます。受信拒否設定となっている場合や、一部の携帯電話には緊急速報メールが届きません。受信設定や機能の有無などについては、携帯電話会社へ問い合わせください。

## 避難用品や非常用品の用意も忘れずに

避難が必要になったときに備え、安全で避難しやすい服装を用意し、食料や飲料水、懐中電灯、モバイルバッテリーなどの非常用品やマスクなどの感染症対策物品、非常時に持ち出す貴重品をまとめておきましょう。

## 実際に避難の呼びかけがあった場合は…

▼昼夜の滞在も考え、自分自身が使用する**毛布などの寝具**や**3食分(1日分)程度の食料**を準備してから避難しましょう。

## 知っていますか？避難情報

無理な避難をしない「垂直避難」も有効



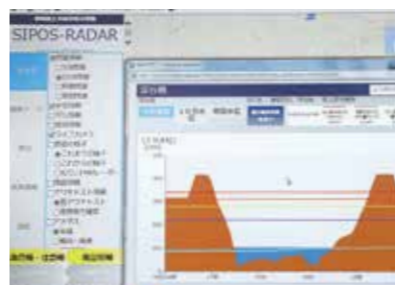
夜間や雨脚が強い状況下での子どもや高齢者、足腰が不自由な人などの避難は大変危険です。無理に避難所へ移動せず、住宅の2階など、高いところへの避難(垂直避難)も有効です。ただし、河川の近くや土砂災害の危険区域にお住まいの方は、避難所への避難を優先してください。

## 避難情報の種類と住民に求める行動

警戒レベル	住民に求める行動	避難情報など
5	すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保
4	速やかに避難所に避難。避難所への移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内の安全な場所に避難。	避難指示
3	高齢者など、避難に時間を要する人とその支援者は避難開始。その他の人は、いつでも避難ができるよう準備。	高齢者等避難
2	避難に備え、ハザードマップなどにより自らの避難行動を確認。	
1	災害への心構えを高める。	

## 情報収集が身を守る

### インターネットによる情報収集



気象庁 雨雲の動き、台風情報のほか、洪水や土砂災害の危険度分布などに関する防災情報が提供されています。  
サイポスレーダー(静岡県土木総合防災情報) 萩間川や勝間田川、坂口谷川の水位情報、雨量などが確認できます。

### テレビのデータ放送(dボタン)



防災情報(天気予報や降雨状況、河川水位など)を確認できます。「d」ボタンは、テレビの機種によって配置が異なります。  
\*静岡朝日テレビの「自治体広報情報サービス」を活用し、市からのお知らせをデータ放送で発信しています。  
\*河川水位はSBS(静岡放送)、NHK(日本放送協会)のみ。

「牧之原市洪水ハザードマップ」で浸水想定区域の確認ができます。また「土砂災害危険箇所(区域)」も確認できます。

牧之原市 洪水ハザードマップ  
で 検索

「避難行動判定フロー」は、あなたが取るべき避難行動の確認ができます。

牧之原市 避難行動判定フロー  
で 検索

平常時から区や町内会の避難地を確認しておきましょう。

牧之原市 お住まいの避難地  
で 検索

「わたしの避難計画」(令和5年度に全戸配布完了)を活用し、各家庭において避難先などを確認しておきましょう。